

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震評価：容器類）

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/7/13	VI-2-5-7-1-4	原子炉補機冷却水サージタンクの耐震性についての計算書	p10	基礎ボルトと基礎の縦弾性係数比について、算出の考え方を整理して説明すること。	原子炉建屋に設置した容器における縦弾性係数比sについては、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」に基づき「15」を用いている。この値は、原子炉建屋の設計基準強度に基づき算出した縦弾性係数比「8」を上回っており、算出応力への影響について問題ないことを確認した。	回答整理表にて回答	2021/9/21 回答済み	

女川2号工認 記載適正化箇所（機電耐震：耐震評価：容器類）

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-2-4-3-1-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書	p2	表2-1の概略構造図について、ノズルや寸法線を明確に記載した。	2021/9/21	
2	VI-2-4-3-1-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書	p12	単位の記載をN・mmからmmに適正化した。	2021/9/21	
3	VI-2-5-7-1-5	原子炉補機冷却海水系ストレーナの耐震性についての計算書	p2	概略構造図について、平面図ということがわかるように、全体の形状がわかるように適正化した。	2021/9/21	
4	VI-2-4-3-1-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書	p4	「4.1 構造強度評価方法」において、応力の算出方法が絶対値和であることを明記した。	2021/10/29	
5	VI-2-4-3-1-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書	p9	「4.4 疲労解析評価」において、等価繰返し回数が設備毎に個別に設定したものであることが分かるように記載を追記した。	2021/10/29	
6	VI-2-5-7-1-4	原子炉補機冷却水サージタンクの耐震性についての計算書	p2	概略構造図のタンク全高について、底板を含めた寸法となるように記載を適正化しました。	2021/10/29	
7	VI-2-10-1-2-1-2	非常用ディーゼル発電設備 空気だめの耐震性についての計算書	p2	概略構造図に全高を記載しました。	2021/10/29	